

## K 不等比皿手動はかり



このはかりは皿にはかりたいものを載せ、逆側におおよその分銅をつりさげた後に、さお部分のスライドおもりを調整し、つりあった場所の目盛を読み取ります。つりさげた分銅の重さとスライドの目盛の合計がはかりたいものの重さになります。

このはかりはその原理上、一度分銅の量とスライドを調整すれば常に一定量を計ることが出来るため、今でもパン屋等で食パン1斤を定量に切り分ける際等に使っていることもあります。